

2025年9月30日

株式会社NTT データおよび株式会社NTTDX パートナーとの 脱炭素支援における協業開始について

株式会社秋田銀行（頭取 芦田 晃輔）は、株式会社NTT DX パートナー（代表取締役社長 阿部 隆）、株式会社NTT データ（代表取締役社長 鈴木 正範）と協業し、温室効果ガス（以下、GHG という。）排出量算定プラットフォーム「C-Turtle®」の無償提供を開始しますのでお知らせいたします。投融資先への C-Turtle の無償提供は秋田県に拠点を置く金融機関として初となります。あわせて、脱炭素支援サービスの提供によりお客さまの脱炭素経営を支援するため、株式会社NTT DX パートナーと業務提携しましたのでお知らせいたします。

当行は、中期経営計画において、「豊かな自然環境の維持と継承」をマテリアリティの1つに掲げております。本協業により、「知る」「測る」「減らす」のすべてのフェーズでお客さまの脱炭素経営をサポートしてまいります。

【「C-Turtle®」について】

「C-Turtle®」は、「削減できる Scope3^(注) 算定」を実現する、NTT データが開発した GHG 排出量可視化プラットフォームです。一般的に、Scope3 の算定は「活動量（企業の活動規模）」×「排出原単位（市場平均値）」で算定されることが多く、企業の削減努力を反映することが難しいという課題があります。「C-Turtle®」は、Scope3 の算定にサプライヤーの排出量（一次データ）を活用し、サプライヤーの削減努力を自社排出量に取り込むことができる「総排出量配分方式」を採用しています。これにより、投融資先の排出量削減努力との連携が可能になり、サプライチェーンを通じた GHG 排出量の算定・削減の推進が可能となります。

(注) Scope3 とは、サプライチェーンにおける温室効果ガス排出量を指し、金融機関においては、「投融資を通じた間接的な GHG 排出量」が最も大きくなります。

「総排出量配分方式」対応、GHG排出量算定プラットフォーム



Point 1 GHGプロトコル全Scope対応
IFRSS2、GHGプロトコルに基づいた算定が可能、複雑なScope3算出に利用可能。複雑を極めたエクセル計算から脱却し属人性を排除します

Point 2 削減努力が反映されるScope3算定
環境省が推奨する排出原単位の一次データを大企業から小規模企業まで幅広く保有し、削減できるScope3算定を実現します

Point 3 グローバルのGHG排出量情報を保有
英国NGOであるCDPのグローバルデータも利用可能、CDPデータの使用許諾契約を持つのはグローバルでもNTTデータのみです

(図の提供：株式会社NTT DX パートナー、株式会社NTT データ)

「C-Turtle®」 | NTT データ - GHG 排出量可視化プラットフォーム

<https://www.nttdata.com/jp/ja/lineup/c-turtle/>

【本協業における各社の役割】

- 秋田銀行：お客さまへの脱炭素経営の促進、ファイナンス等の提供および C-Turtle の無償提供にかかる費用負担
 - NTT データ：C-Turtle の開発および提供
 - NTDX パートナー：各種脱炭素支援メニューの提供
- その他、脱炭素経営に関するセミナーや勉強会などの実施につきましても、本協業のもと行ってまいります。

【協業開始の発表会の様子】



(左から)

NTT データ	コンサルティング事業本部 サステナビリティサービス&ストラテジー推進室 統括室長	南田 晋作 様
秋田銀行	上席執行役員経営企画部長	林口 哲也
NTDX パートナー	代表取締役	長谷部 豊 様

(以 上)



SDGs (Sustainable Development Goals)

2015 年に国連で採択された持続可能な開発目標であり、2030 年までに解決すべき世界的優先課題 17 目標と目標を達成するための 169 のターゲットが示されています。